

「東村山むさしの学園」のお話。

おかげさまで、「東村山むさしの幼稚園」は、平成25年で40周年を迎えました。時代の流れとともに社会は変わり、幼稚園に通わせるご家庭の事情も様々に変化しつつある昨今。例えば、すでに保育事業である預り保育を行っていますが、いまや、幼稚園でも、週5日、1日4時間の教育時間以外にも支援を必要とされるご家庭はたくさんありますね。また、保健・衛生・食育などにおいても、保育施設が持ちうるノウハウを必要としている場面はたくさんあります。そして、世の中を見てみると、就労や介護で保育を必要としているご家庭や子どもがたくさんいます。また、保育施設に対しても、就学へ向けた幼児教育の普及、正課指導、課外教室など、学校教育的な要素が求められる声もあります。



以前、学校法人は認可保育所を設立できなかったのですが、制度が変わり、学校法人であっても、幼保連携を組む場合、「私立認定保育所」という、いわば認可保育所と同等の基準を満たした保育施設を設立することが出来るようになりました。

幼稚園と保育施設。2園体制への歩み

幼稚園にしても保育所にしても、「教育も」「保育も」と、各々の現状より、さらなる充実を目指すという狙いに、「認定こども園」制度があります。



「幼稚園の隣に保育施設を併設し、互いに持ちうる環境やノウハウを共有する事で、幼保それぞれが、単独では難しい様々な狙いを実現できるのでは？」

平成25年4月、「東村山むさしの幼稚園」のお隣に、私立認定保育所「東村山むさしの保育園」が開園し、「幼保連携型認定こども園」の認可を取得しました。



平成27年度からは、いったん「幼保連携」を外し、両園が互いに「認定こども園」の認可を取得。タイプの違う姉妹園として連携を結びます。

その理由は、新制度の下で幼保連携を継続すると、一園とされ幼保の区別はなくなります。そこで、制服の違い、行事の違い、保育料の仕組みの違いによる保護者負担の違い、そのほかにも、一気に一つの園として調整を図るには、これまで歩んで来た幼保の持つ特色に対し、急に無理が生じ、幼稚園児やそのご家庭、また、保育園児やそのご家庭に対しても、様々な不利益を強いる事となってしまいます。



故に、平成27年度より、幼稚園と私立認定保育所は、それぞれが…

- ①幼稚園型の認定こども園（東村山むさしの第一認定こども園）として、また、
- ②保育所型の認定こども園（東村山むさしの第二認定こども園）として、

スタートする事となりました。

第一園、第二園、どう違うの？

◀ イメージとして … 第一園は、「幼稚園」。第二園は「認定こども園」 ▶

幼稚園は幼稚園らしさを守りつつ、保育所は更なる教育力や環境の向上に向けて。混同することなく連携。助け合い、補い合い、ノウハウの共有や多彩な取り組みをめざして。



第一園である**東村山むさしの幼稚園**は、法に定められた教育機関である「**学校**」です。その上で、預り保育や子育て支援の充実を目指しつつ、純粋な私立幼稚園としての立場を継続する形で歩んでいます。

※幼稚園型認定こども園の認定は、法に定められた、預り保育や子育て支援に関する、ある一定の基準を満たした幼稚園が受けられる認定です。

故に、東村山むさしの幼稚園は、「**預り保育や子育て支援の充実した幼稚園**」だと、お考えいただくと、理解しやすいかと思います。

第二園である**東村山むさしの保育園**は、発足当初からの趣旨、認定こども園である事を受け継ぎ、保育施設であるとともに、教育要素をふんだんに含んだ、いわゆる、姉妹園また学法の持つ幼児教育のノウハウと、乳幼児保育を連携させた施設を志として歩んでいます。

※保育所型認定こども園の認定は、保育とともに、幼児教育の理念や指針も組み込まれた施設が受けられる認定です。

故に、第二園は、従来の保育所とは異なる部分も多々ありますが、「**幼稚園に近い要素も含まれた保育施設**」とお考えいただくと理解しやすいかと思います。



教育内容や保育時間は？

第一園も、第二園も、**日曜・祝日・年末年始の6日間以外全日**、保育の受け入れ態勢を完備しています。



そのほかの特色



第一認定こども園（幼稚園型）である**東村山むさしの幼稚園**は、おおよそ年間39週、週5日、1日4時間という幼児教育を行う**学校**であるとお伝えしました。しかしながら、第二園と同等の預り保育の受け入れ態勢を確立しており、年間を通しての保育態勢が整えられています。

※平成27年度より、2号認定取得ができるようになりました。これは、幼稚園入園に加え、年間を通して預り保育をご利用の方は、お住いの市区町村での2号認定の取得により、市の定める2号の保育料が適用されます。

つまり、従来の、「幼稚園の保育料+預り保育利用料」から「2号児に対する保育料等」へと一本化され、ご負担も減る見込みです。「**幼稚園に入れたい。しかし、保育所並みの預り時間が必要**」とお悩みの方も、入園しやすくなりました。

中身は純粋に
幼稚園って事ね!

預り保育や子育て
支援の基準を満た
した上で。



保育所型認定こども園である**第二**認定こども園は、従来制度の保育所と同等の受け入れ時間態勢とお考えください。その上で、幼児は、その保育の中に教育時間が設けられており、幼稚園で行っているカリキュラムをベースに、保育の中での幼児教育を行います。

また、乳児も、幼児期のカリキュラムを見据え、体育やリトミック、そして、英語遊びなど、その後の活動への導入プログラムが盛り込まれています。

※平成27年度より、第二園にも1号児定員を設けました。これは、在園期間中に様々な事情により2号認定を失った場合でも、退園を迫られることなく、卒園までの間、おおよそ年間39週、週5日、1日4時間という教育的要素を受け続けられるようになります。

また、敷地内で行われている、午後の様々な課外教室（習い事）にも通うことができます。

幼稚園の良さや
理念も取り入れ
た保育施設って
イメージね!



また、他にも、**第一**（むさしの幼稚園）は、従来の幼稚園の姿を遵守していますので、年間行事やカリキュラムの中には、**平日参加の行事**があったり、子ども達も楽しみにしている**お弁当の日**があったり、**保護者参加の会も活発**に行われており、私立幼稚園ならではの特色と良さを踏襲しています。



第二は、前進が保育施設ですので、就労や介護の必要なご家庭のお子様も多く、そのようなご家庭でもできるだけ支障が無いような年間行事やカリキュラム、また、保護者会の形式を踏襲していきます。

どっちを選ぶのがベスト?

幼稚園は幼稚園としての姿を継承するため、また、保育所型認定こども園は幼児教育の普及を目指した施設として独自の発展を目指す事を意図しています。様々な価値観や環境を持つご家庭がある中で、広いニーズにお応えできるよう受け入れ態勢を準備しつつ、両園ともに、より良き教育と保育の施設を目指す形となっています。「願いは同じく、しかしながら、施設ごとの文化や歴史の継承を実現しつつ、若干のタイプの違う両園が力を合わせて…」と。



他にも、第一園においては、法律上の学校であるので、幼稚園教育課程の修了証書が発行されますが、第二園は福祉施設的な位置づけなので、修了証書は発行されないなど、両園、同じ保育時間の受け入れ態勢はありますが、上記のように特色が異なりますので、

- ① まず、「幼稚園へ入れたい」「幼稚園教育を受けさせたい」と思う方は第一園へ。
- ② 「預り保育を利用できたとしても、幼稚園の行事予定が厳しい」と思う方は、第二園へ。
- ③ また、「保育所を探してる」方が、第二（認定こども園）を選ぶ場合、**保育施設とはご負担も内容も異なる部分がありますので、保育・教育的要素へのニーズや園の方針をお考えいただき、市内多数にある保育所を含めた上でお考え下さると、お子様を含めご家族の皆様の園生活もスムーズにいくと思います。**



保育料は?

保育料は、市区町村の定める各号の保育料となり、両園とも共通となります。また、その他、入園金、特定負担額、実費徴収額などは、園ごとに異なります。

※新制度では、行政が定める保育料のほか、施設環境・教育保育内容・人員配置等の方針により、各園において「特定負担額」「実費徴収額」が定められ、利用者は、それも含めた上での多彩な園選びができるようになります。



入園申込み方法



ウェブサイトやフェイスブック、または、園備え付けの要綱などをご覧いただき、園の特徴を良くご理解ください。また、定員がありますので、入園可能かどうか、詳しくは園へお尋ねください。その上で…

- (呼称) **東村山むさしの幼稚園** (第一施設) …… 園へ直接のお申し込みとなります。
 (呼称) **東村山むさしの認定こども園** (第二施設) …… 市役所窓口でのお申し込みとなります。

| むさしの幼稚園 | 呼称(呼び方) | むさしの認定こども園 |
|-----------------|---------|-----------------|
| 東村山むさしの第一認定こども園 | 認定名称 | 東村山むさしの第二認定こども園 |
| 幼稚園型認定こども園 | 認定種別 | 保育所型認定こども園 |
| 東村山むさしの幼稚園 | 施設認可 | 東村山むさしの保育園 |
| 私立幼稚園 | 施設形態 | 私立認定保育所 |
| 学校 | 施設種別 | 児童福祉施設 |

